

脇本商事の繊維のネタ帳 Vol.188

知っておきたい繊維の知識～アパレル編②①

こんにちは！
『知っておきたい繊維の知識』（ダイセン株）より『アパレル編』をご紹介しますのでよろしくお願ひします～！

【縫製準備工程】

製造は、生地を受け入れから商品の完成まで「縫製準備工程」と「縫製工程」に分けられます。今回はその「縫製準備工程」について触れていきます。

- 1) 検反…検反はまず、生地メーカーが染色加工場から出荷する最に行い、外観品質を検査します。
- 2) スポンジング、放反…生地は製造時は巻反時に生じた歪みが残留していることが多いので裁断前に寸法を安定化しておく必要があります。スポンジングとは熱と水分を使って安定化させ、生地を解反して24時間以放置する自然放反があります。
- 3) 延反…原反を延反台に広げて地の目を整え生地の片方の耳を揃えながら積み重ね裁断が行えるようにします。
- 4) 裁断…自動裁断されるCAM、裁断機、バンドナイフ、油圧裁断、レーザー裁断、ウォータージェット裁断などがあります。
- 5) 仕分け…裁断された生地の各パーツは管理され仕分け、整理されます。
- 6) 芯地接着…着用性、形態保持などの観点から所定のサイズに裁断し、接着ス機等により生地と接着一体化したあと縫製されます。



facebook情報宅急便！ www.facebook.com/kkwakimoto

こんにちは！Bobbinです～♪
画画像にあるのは「北海道ウール」サステナブルな観点から生まれた新素材です。

北海道のめん羊牧場で育った羊「サフォーク」から取れた羊毛を使い、日本で紡績した純国産ウールです。

サフォーク種とは国内で最も多く飼育されている肉用羊の代表的な品種で、ラム肉としてジンギスカンやステーキに利用され日本では北海道を中心に飼育されています。

生地はニット（裏起毛、ワッフル、ハニカムなど）で綿混に仕立ててありますので量産に対応しています。

羊毛は繊維に弾力があり、空気を含むため保温性が高いだけではなく、



吸湿性、放湿性に優れています。

北海道の羊から採れた希少な国産ウールですので、その独特な風合いの生地を利用して商品化してみたいかがでしょうか～

ぜひみなさんに使っていただきたいです～♪

NET PICKUP! 博報堂生活総合研究所による生活者の意識調査 定点調査で回答の変化を観測しています

生活定点より <https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2026-05/>

2026年5月の消費意欲指数は？

最新(2026年4月上旬)調査結果

20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化 45.0%

前月(4月)より0.2↑ 前年(2025年)より1.0↑

大型連休に向けた意欲は高まるも、物価高や世界情勢への懸念は強まる
消費意向は、男性を中心に旅行関連など大型連休らしいカテゴリーで前月比増

ラベルくん.com www.label-kun.com

～株式会社脇本商事のホームページからのお知らせ～

ラベルくん.comを運営しています脇本商事では生地をはじめ、副資材から梱包材など繊維製品の専門材料をピックアップしてご紹介しています。ぜひご覧ください～♪

<https://kk-wakimoto.com>



脇本康裕の気になるコラム
「社長の脇本が「気になるコラム」を連載！」

未活用の食材から染める

サステナブル関連の広がりで、エコ素材ではなくストリー商品が価値化されています。繊維のなかでもその話題はいろいろな方面で耳にするようになりました。

未活用な食材を原料として、それに含まれる成分から染料を抽出して染められている生地などがあるようです。

例えばコーヒーカー。

抽出後のコーヒーカーからブラウン系～セピア系の色が出ます。

緑茶や紅茶といった茶殻からもベージュ系、カーキ系、グレー系の色が出ます。

そのほか食品では野菜くずの玉ねぎの皮、にんじん、紫キャベツなどのパリエーションが豊富なものがあげられますので多様な色が楽しめます。

一方で何に染めるかも考えどころ。

Tシャツやエプロン、スカーフ、スロールなどが多いように思います。

色よりストリーが明確なので地域やブランドとの連携も相性がいいので、産地ストリーとしていろいろな商品化が考えられそうです。

ビールかすやワインの搾りかすからも色の抽出が出来るようです。

飲みながら染めるストリーを語り合おうと、自然にその供給量に貢献できるかもしれませんね。

Gadget Star

ガジェットの星

便利な商品をインターネットから探してご紹介するコーナーです♪

ガジェット通信より <https://getnews.jp/archives/3708976>

スマート電球

「Wi-Fiいらなくて本当？イヤホン感覚で使えるスマート電球が気になる」スマート電球は便利そうだけど、「設定が難しそう」「ちゃんと安定して使えるの？」と一歩踏み出せない人も多いはず。そんな中で見つけたのが、リンクジャパンのスマート電球「eLamp2」シリーズ。Wi-Fi不要で、手軽に取り付けられる人気商品です。

“3タップで完了”の手軽さはかなり魅力的

Wi-Fi不要をうたい、セットアップはソケットに取り付けてアプリから数タップで完了する仕様。Bluetoothイヤホンのような感覚で使い始められる設計とのことです。

スマート家電のハードルになりがちな「初期設定の面倒さ」を避けたい人には、かなり相性がよさそうなポイントです。

Wi-Fiがいない理由とは？

eLamp2はWi-Fiではなく、独自のBluetooth (BLE) 通信を採用。電球ごとにWi-Fi接続する必要がないため、設定がシンプルになるのが特徴です。また、開発に時間をかけて接続の安定性を重視しているとのことで、「突然つながらなくなる」といったWi-Fi製品にありがちなストレスの軽減も狙った設計になっています。

1,600万色の調光調色で、思い通りの空間に

明るさや色味を自由に調整できるため、シーンに合わせた光の演出が可能。リラックスしたいときには暖色系、集中したいときには寒色系など、好みに合わせて空間の雰囲気を手軽に変えられるのも魅力です。専用アプリ「HomeLink(ホームリンク)」からは、調光や色の変更はもちろん、複数の電球の一括操作やタイマー設定などもまとめて管理できます。

選べる2サイズ。E26とE17、どっちを選ぶ？

用途や照明器具に合わせて選べるので、まずは電球サイズをチェックしてみましょう。

E26:一般的なメイン照明向け。部屋全体をしっかりと照らしたい人に。
E17:間接照明やデスクライトなど小型照明向け。雰囲気づくりに。

スマートホーム化の“最初の一步”に

Wi-Fi不要で始められる手軽さや、安定性を重視した設計など、「スマート家電を試してみたい人」に向けた要素が揃っている印象です。いきなり大きく環境を変えなくても、照明ひとつから生活の快適さはじわっと変わるもの。まずは1灯から取り入れてみるのもよさそうです。



※文章：ガジェット通信より抜粋

